

第16回 全道フットパスの集い inあさひかわ

開催要項

「川と生き物とフットパス」をテーマに、第16回目となる全道フットパスの集いを旭川で開催いたします。1日目は、旭川の代表的な地区(コース)を歩いて旭川を知っていただき、夕方にはテーマに沿ったシンポジウムと交流会を企画しました。2日目は、〈川のまち・旭川〉らしく、川沿いに3つのコースを設け、たのしんでいただきます。

川や生き物たち、そして、フットパスを愛する良き人たちのご参加をお待ち申し上げております。

開催期間／2012年10月13日(土)～10月14日(日)

主催／全道フットパスの集い inあさひかわ実行委員会

事務局／旭川フットパス愛好会(歩穂)

共催／全道フットパス・ネットワーク

後援／あさひかわ自然共生ネットワーク、環境ボランティア「野山人」、旭川開発建設部、

〈予定〉〈北海道上川総合振興局、旭川市、報道機関

協力／エコ・ネットワーク(札幌)、旭川帰化植物研究会、旭川みどり21の会、嵐山ビジターセンター、

〈予定〉大雪と石狩の自然を守る会、チカブニアイヌ民族文化保存会、突嘴山と身近な自然を考える会、日本野鳥の会旭川支部

※参加申し込み・問い合わせ先

・郵送・電話又はファックスの方は、〒070-0822 旭川市旭岡6丁目4-3 高原 一記(0166-54-6517) まで
・eメールご使用の方は、nshirai.2008@yahoo.co.jp 白井 暢明あてにお願いいたします。

※なお、宿泊については、恐縮ですが、直接ホテルなどにお申し込みいただくか、観光情報センター(0166-26-6665)などにお問い合わせください。食事についても、各自ご用意ください。

会員の皆様へ

「全道フットパスの集い inあさひかわ」実行委員会への参加及びカンパのお願い。
〈歩穂〉会員の方は、できれば開催準備のためのカンパ(一口1,000円)を3口以上をお願いします。

◎お問い合わせ／郵送・電話又はファックスの方は

〒070-0822 旭川市旭岡6丁目4-3 高原 一記 (TEL0166-54-6517) まで

第16回 全道フットパスの集いinあさひかわ

開催1日目 **10月13日** ※コース・時間等は素案であり、5月末決定

あさひかわフットパス・ウォーク

旭川のまちなみや歴史、文化をたどるフットパス。

嵐山周辺コース 10:00スタート・4キロ・100人(定員)

●コース順路

北邦野草園・嵐山公園センター→松井梅太郎顕彰碑→
アイヌ文化の森・伝承のコタン→クーチンコロ顕彰碑→
嵐山展望台→駐車場・WC→国見峠→近文山園見の碑→
笹小屋園地跡・WC→チャシコツ→出発地点に戻る



展望台から大雪山連峰や石狩川が眺望でき、旭川のまちのようすがわかります。
アイヌの人たちゆかりの史跡や伝説が数多く存在しており、まちの歴史や自然
環境と向き合う上の「知恵の宝庫」でもあります。
古老たちとの素敵な語りができる散策路を存分に楽しめます。



▶嵐山/11/13試歩。小雨まじりの曇天、時折強い風面にさらされながら8人が参加。2〜3カ所すべりやすい坂があり、危険防止のための手当が必要。ガイド養成が求められる。



まちなかコース 10:00スタート・5キロ・100人(定員)

●コース順路

常盤公園→七条緑道→買物公園→旭川駅→忠別川・
氷点橋→見本林・三浦綾子記念文学館→上川神社→
神楽岡公園



日本で最初の歩行者天国(平和通買物公園)は、同時にフットパスの元祖とも言えます。それに続く七条緑道、常盤公園……一方、駅の南方面には、氷点橋から見本林、三浦綾子記念文学館、神楽岡公園へと「緑のかたまり」が。まん中を流れる忠別川では、ふるさとをめぐりサケの湖上する姿が見られるかも。

のんびりコース 10:30スタート・1〜2キロ・40人(定員)

●コース順路

北彩都地区シビックコア→宮前公園東・西→「大池」→
リバーフロント→(南6条通)→おびった



メタボ対策、運動不足解消、健康的にヤセたいと願う中高年、若返り策に悩むお元気な初老紳士・淑女のみならず、ポールウォーキングに取り組んでいる方々などが、いっしょに交流を深めながら、ひと時を過ごす試み。スタッフ(見守り)がお伴し、運がよければサケの湖上する姿にめぐり会えるかもしれません!

- 参加費は、各コースとも500円(障害保険料込み)、当日、会場受付でお支払いください。
- 昼食や飲みものは、各自持参、小雨決行ですので雨具もご用意願います。
- 定員になり次第締切らせていただきます。

シンポジウム

テーマ:「川と生き物とフットパス」

日時/ 10月13日15:00~18:00
会場/ トーヨーホテル(2階・丹頂の間)
パネリスト/
定員/ 200人(どなたでも参加できます)
参加料/ 500円(資料代)

交流会

参加者どうし交流を深め
情報交換する場です

日時/ 10月13日18:30~20:30
会場/ トーヨーホテル(3階・翡翠の間)
定員/ 150人
参加料/ 4,000円(会食代)

第16回 全道フットパスの集いinあさひかわ

開催2日目 **10月14日** ※コース・時間等は素案であり、5月末決定

川沿いフットパス・ウオーク

ふるさとをめざすサケのように、川をさかのぼるフットパス。

石狩川コース 9:15スタート・12キロ・70人(定員)

●コース順路

新橋(右岸・駐車場)→旭橋(右岸)→金星橋(右岸)→
花咲大橋(河川緑地)→秋月橋(右岸広場・駐車場)→
北旭川大橋→ミクリ・ボン・トー→永山橋→永山新川
(川のふるさと交流館ささらで解散)

▶石狩川/11/9(小春日和の気持ち良い風を受け12.6kmを踏破。ミクリ・ボン・トー)などワンド環境や永山新川のオオハクチョウに驚かされました。8人試歩に参加。



●流域面積、流路延長、年平均流量でいずれも首位の「石狩川」は、北海道の「川の王者」にふさわしく、ゆったりと流れるさまは「母なる川」としても、私たちをやさしく包み込んでくれている。

- 全体的に河鮮林はほとんど見られないが、河川敷は市民の利用が盛んで、いこいの場となっている。
- <ワンド(高沼)>(水辺で自然の状態で植物が生育)、<ミクリ・ボン・トー>(絶滅危惧種のミクリが固まりとして生育)など、貴重な環境が残されている。カワセミ(秋月橋左岸帯)やハクチョウ(永山新川沿い)の姿も…

忠別川コース 9:15スタート・8キロ・70人(定員)

●コース順路

氷点橋右岸北彩都広場→神楽橋(サケの湖上ポイント)→
神楽岡公園(駐車場)→緑東大橋(河川緑地)→ツインハープ
橋→ひじり野大橋→「トトロの森」→総合防災センター(解散)

▶忠別川/11/25試歩。大雪の中、防寒着スタイルで出発(7人)。ワンドあり、湧水あり、サケの産卵場所ありと、魅力つきなコースに大満足!天候も回復し「トトロの森(通称)」という知られざる名所も。



- 全長59.2kmと短い急流河川として有名(二見川の標高が620m、石狩川の合流点100m)。とくに、大正橋(標高140m)から石狩川の合流点(同100m)までの5.8kmは最も急流といわれている地帯(1/145)。
- 昔からサケの遡上が多く見られた川で、ボン川の合流点(ツインハープ橋下)から石狩川合流点までは忠別川産卵場と言われた場所。
- 旭川駅のある場所は、当初堤防がなく駅裏の水田高度(108.5m)と、富良野線の高度(114.8m)の差6.3mを天然の堤防として駅がつくられました。当時の苦労が偲ばれ、先人の偉大な知恵を感じます。

美瑛川・ロングトレイルコース 10:00スタート・12キロ・50人ずつ(定員)

●コース順路

再会の森→亀吉の森→旭川大橋→両神橋・美瑛川(左岸)→
美瑛川フットパス→平成大橋→上流右岸広場→
雨粉大橋→ツインハープ橋(解散) ※美瑛川コースに参加の方は、平成大橋から神楽岡公園へ。

▶美瑛川/11/30試歩。マイナス6度の寒空の中「七人の侍」が出現。心なしか涼しい風量が別になる!ツインハープ橋で産卵後のサケを2匹発見!



- 旭川フットパス愛好会がホーム・グラウンドにしている「再会の森」(亀吉の森)は、2年連続の洪水で修復中です。
- (再会の森)は、市街地を流れる川が一本化される地点に、(亀吉の森)は、忠別川が石狩川に合流する地点にあります。また、美瑛川と忠別川が合流するのは、両神橋下流です。
- ロングトレイルコースはNPO法人「野山人」が中心になって、450kmに及ぶ(大雪ロングトレイル構想)の実現をめざし、社大なコースづくりに挑戦中(2市14町村と連携)。